

9款 消防費 1項 消防費

(単位:千円)

久留米広域消防負担金					防災安全課																																												
総 額	財 源 内 訳																																																
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																												
495,163				3,752	491,411																																												
<p>【施策の目的】 市民の生命、身体、財産を火災から保護するとともに、水害等の災害を防除し、被害を最小限に抑えるために組織した、久留米広域消防本部への運営負担金である。</p> <p>【施策の実施及び施策額の内訳】 構成市町負担金総額 4,329,208千円 ・負担金内訳 【経常費負担金】4,002,672千円 【特別負担金】326,536千円 (うち投資的経費:155,400千円)  小郡市負担金総額 495,163千円 ・負担金内訳 【経常費負担金】463,905千円 【特別負担金(退職手当、投資的経費、元利償還金)】31,258千円 (うち投資的経費:3,752千円)  組合構成団体(4市2町) 久留米市・小郡市・うきは市・大川市・大刀洗町・大木町</p> <p>【施策の評価】 地域防災の要である久留米広域消防本部の運営、また施設や車両などの設備の充足に寄与した。 三井消防署においては、令和4年度より、消防施設整備事業として庁舎建て替えが進められており、令和5年度は、既存訓練施設等の撤去、新訓練棟部分の文化財発掘調査が行われ、事業が進捗した。 令和6年度以降、建築工事に着手することとなり、久留米広域消防本部と相互に情報共有・連携しながら事業を進めていく必要がある。</p>																																																	
消防団管理運営費					防災安全課																																												
総 額	財 源 内 訳																																																
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																												
42,543		99		4,627	37,817																																												
<p>【施策の目的】 市民の生命、身体、財産を火災等から保護するとともに、水害等の災害を防除し、被害を軽減するために消防団を設置するものである。</p> <p>【施策の実施】 消防団員数 233名(令和6年3月末現在) 主な活動</p> <table border="0"> <tr> <td>4月2日</td> <td>入退団式</td> <td>11月9日～15日</td> <td>秋季火災予防運動</td> </tr> <tr> <td>4月29日</td> <td>第1回教養訓練</td> <td>12月3日</td> <td>第3回教養訓練</td> </tr> <tr> <td>5月14日</td> <td>小郡市水防訓練</td> <td>12月29日～30日</td> <td>年末夜警</td> </tr> <tr> <td>7月2日</td> <td>小郡市消防団ポンプ操法大会</td> <td>1月8日</td> <td>小郡市消防出初式</td> </tr> <tr> <td>8月11日</td> <td>花火大会警備</td> <td>3月1日～7日</td> <td>春季火災予防運動</td> </tr> <tr> <td>11月9～15日</td> <td>第2回教養訓練 (各分団地域防火活動)</td> <td>3月2日</td> <td>夜間実践防犯訓練</td> </tr> </table> <p>【施策額の内訳】</p> <table border="0"> <tr> <td>報酬</td> <td>19,274千円</td> <td>需用費</td> <td>950千円</td> </tr> <tr> <td>共済費</td> <td>6,457千円</td> <td>役務費</td> <td>177千円</td> </tr> <tr> <td>報償費</td> <td>11,639千円</td> <td>原材料費</td> <td>25千円</td> </tr> <tr> <td>旅費</td> <td>482千円</td> <td>負担金、補助金</td> <td>3,510千円</td> </tr> <tr> <td>交際費</td> <td>29千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						4月2日	入退団式	11月9日～15日	秋季火災予防運動	4月29日	第1回教養訓練	12月3日	第3回教養訓練	5月14日	小郡市水防訓練	12月29日～30日	年末夜警	7月2日	小郡市消防団ポンプ操法大会	1月8日	小郡市消防出初式	8月11日	花火大会警備	3月1日～7日	春季火災予防運動	11月9～15日	第2回教養訓練 (各分団地域防火活動)	3月2日	夜間実践防犯訓練	報酬	19,274千円	需用費	950千円	共済費	6,457千円	役務費	177千円	報償費	11,639千円	原材料費	25千円	旅費	482千円	負担金、補助金	3,510千円	交際費	29千円		
4月2日	入退団式	11月9日～15日	秋季火災予防運動																																														
4月29日	第1回教養訓練	12月3日	第3回教養訓練																																														
5月14日	小郡市水防訓練	12月29日～30日	年末夜警																																														
7月2日	小郡市消防団ポンプ操法大会	1月8日	小郡市消防出初式																																														
8月11日	花火大会警備	3月1日～7日	春季火災予防運動																																														
11月9～15日	第2回教養訓練 (各分団地域防火活動)	3月2日	夜間実践防犯訓練																																														
報酬	19,274千円	需用費	950千円																																														
共済費	6,457千円	役務費	177千円																																														
報償費	11,639千円	原材料費	25千円																																														
旅費	482千円	負担金、補助金	3,510千円																																														
交際費	29千円																																																

**【施策の評価】**

火災を初めとする災害から、市民の生命、身体及び財産を守り、安全・安心に大きく寄与した。コロナ禍も明けて、各消防団事業についても、令和5年度は通年のスケジュール・規模で開催することができた。

令和5年度末の団員数は233名となり、令和4年度末の241名より8名減となったが、条例定数の255名と比較しても依然として厳しい状況にある。

団員確保のため、令和4年度より新たな処遇内容で運用しているが、課題もあることから、今後も消防団と協議しながら改善に取り組むとともに、引き続き消防団・地域と連携しながら団員確保につながる施策の検討を行い、地域防災力の強化に努める。

**新基準活動服更新事業**

防災安全課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
6,600				2,200	4,400

**【施策の目的】**

平成26年に、消防団活動服の機能性などの向上を図るため「消防団員服制基準」が改正されていることから、現行の服制基準に合った活動服への更新を行うもの。

**【施策の実施】**

新基準活動服の購入 250着

**【施策額の内訳】**

消耗品費 6,600千円

**【施策の評価】**

機能性及びデザイン性の向上により、消防団員の士気が向上するとともに、高視認性(背文字を反射素材)の採用により、夜間の安全性・作業性の向上につながった。また、現行の各分団名の刺繍を団章ワッペン(マジックテープ式)に変更したことで、団全体での使いまわしが可能となり、今後の年次の買い足し費用を抑えることができる。

**無線通信システム整備事業**

防災安全課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
16,432			16,400		32

**【施策の目的】**

通常の無線通信だけでなく、画像共有機能、動態管理機能を備え、かつ通信が明瞭なインターネット回線を使用するIP無線機器を導入し、災害時の情報収集手段の充実により、災害対応能力の向上を目的とするもの。

**【施策の実施】**

無線通信システム構築(システムの構築、5年間の運用・保守)

(納品物)

- ・IP無線機器 80セット
- ・端末管理システムパソコン 3台

**【施策額の内訳】**

無線通信システム構築委託料 16,432千円

**【施策の評価】**

システムの導入により、通常の無線通信だけでなく、現地の情報収集を行う職員の動態把握や、現地画像等の情報を災害対策本部に設置する管理システムパソコンにおいて集約することで、災害の現状把握や現地職員への対応指示並びに対策本部内での情報共有の向上につながる。また、汎用性が高く、平常時においては、市のイベント等においても活用できる。

**防災監視カメラ設置事業**

防災安全課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,244			2,200		44

**【施策の目的】**

大雨時における内水氾濫等による浸水状況を把握し、的確に避難情報等を発令する判断材料とするため、防災監視カメラを設置するもの。

**【施策の実施】**

防災監視カメラ設置  
赤川地区 1基 福童地区 1基

**【施策額の内訳】**

備品購入費 2,244千円

**【施策の評価】**

防災監視カメラ設置により、職員を派遣せずに、内水氾濫等の状況を安全に確認し、よりの確なタイミングで避難情報等の発令等を実施できる。  
今後も市内の浸水箇所に対し、監視カメラの増設について検討していく。

**防災行政無線整備事業**

防災安全課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
7,590			7,500		90

**【施策の目的】**

災害等が発生した際の通信手段の一つとして、住民への情報を迅速かつ的確に伝達するため、防災行政無線を整備するもの。

**【施策の実施】**

屋外拡声子局増設 1箇所(埋蔵文化財調査センター敷地内)

**【施策額の内訳】**

防災行政無線整備工事 7,590千円

**【施策の評価】**

今回の増設により、新たに住宅開発されたあすみ地区について、防災行政無線の音達範囲とすることができた。現在、市内61ヵ所に防災行政無線が設置され、災害等に関する情報の伝達を迅速かつ効率的に発信することができている。

**災害時備蓄事業**

防災安全課

総 額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
2,278				2,278	

**【施策の目的】**

小郡市災害時備蓄計画に基づき、平成24年度から平成28年度までの5年間で食料、生活必需品及び災害応急対策に必要な防災資機材等の行政備蓄を行っており、備蓄食料及び生活必需品については消費期限の近づいたものを更新するものである。

**【施策の実施】**

・小郡市災害時備蓄計画に基づき、備蓄食料・生活必需品の更新を行った。

**【施策額の内訳】**

・備蓄消耗品 1,940千円  
(液体ミルク、携帯おにぎり、おかゆ、乾燥スープ、飲料水、紙おむつ、生理用品、携帯トイレ等)  
・災害時備蓄品備蓄倉庫賃借料 338千円

**【施策の評価】**

消費期限の近づいた食料と生活必需品の更新を行い、行政備蓄品の適正な管理を実施するとともに、小郡市災害時備蓄計画に携帯トイレの備蓄目標を定め、必要な備蓄数を整備した。なお、消費期限の近づいた備蓄品を有効活用するため、地域の防災訓練や研修会、イベント、小学校等で配布し、あわせて家庭内備蓄等の啓発を行った。

備蓄食料を更新する際には、食物アレルギー対応のものや簡単に食することができる品目に順次更新する。